

# HIO YOG

## 教区新報



兵庫教区教務所  
ホームページ



兵庫教区教務所  
facebook

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
[編集] 兵庫教区広報部

2018.10 203号

# 未来の宗門のために 「公聴会」開かれる

九月七日、別院ホール(仮本堂)にて兵庫教区「公聴会」が開催された。本公聴会は、今年度新たに改定された「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画・重点プロジェクトを周知し、具体的事例を集約するとともに、現行の賦課制度について共通認識を図り、今後の宗門財政について意見聴取と情報共有を行うためのものである。宗派からは、石上智康 宗派からは、石上智康 総長、小椋智之次長(統合企画室)、森田順照部長(社会部災害対策担当)、そ二〇名が参加した。



100名超の参加者

最初に、九月四日に近畿を襲った台風二十一号による本願寺の被害報告が行われ、その後、昨年度の公聴会経過報告と宗門総合振興計画第一期終了及び第二期始動についての報告が行われた。続いて協議に移り、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)重点プロジェクトにおける宗門実践目標(貧困の克服に向けて「Dāna for World Peace」)の説明並びに推進にあたっての『子どもたちの笑顔のために募金』の要項が示された。その後、教区・組の実例として竹中尚文氏(神姫組組長)から、多くの方の協力により集まった仏飯米を困っている方への提供について、横山正仁氏(姫路南組教区会議員)より約二年続けて行っている子ども食堂についての報告をいただいた。最後に、宗門財政について、今後の社会に求められる僧侶等の育成体系創出にかかる具体策についての説明と意見聴取が行われた。



今年、大坂なおみ選手が日本人初のテニス四大大会優勝という偉業を成し遂げられました。その一つの要因として新コーチであるバインコーチの指導がありました。◆以前彼女は完璧主義者ゆえ、少しのミスで自分を責め自信を失くしていました。そこでバインコーチは彼女に「完璧でなくてもいい。ミスしてもいいんだよ」ということを教えたそうです。その指導もあってか、今大会の彼女を見てみると自分自身の弱さを認め受け入れていくように思えました。また相手選手のことにも認め、敬意を払っている姿が印象的でした。◆これはテニスだけではなく、み教えを聞かせていただく私たちにとっても大切なことのように思えます。◆自己が知られる中で、ありのままの自分自身の姿を認め、相手を認め合えることができるのではないのでしょうか。そしていろんな方々に感謝の気持ちをもって生活していきたいですね。

網干組 浄泉寺 小泉峻

# 組長・副組長が一堂に ―組長・副組長等合同研修会―

六月十二日、加古川プロザホテルを会場に「組長・副組長等合同研修会」が開催された。

兵庫教区は、三十九組を八ブロック（阪神・神戸・東播・姫路・西播・丹波・但馬・岡山）に分かれており、各ブロックが交代で担当となり毎年度研修会を開催している。一九八三（昭和五十八）年に第一回の研修会が開催され今回が三十五回目になる。



那須師による講演

参加者は、来賓に多田満之氏（宗会議員）、大川久夫氏（宗会議員）、教区会より谷川正秀氏（教区会議長）、東播ブロック僧侶教区会議員、そして竹内俊之氏（実践運動委員会委員長）、那波正文氏（前組長会長）にご出席いただき、組長・副組長等合せて百二十名を超える人数となりました。

今回は、東播ブロックに担当いただき、教区内寺院の多くが関係し避けて通ることができないであろう「人口減少社会と寺院」との講題に、総合研究所研究員である那須公昭師をご講師に記念講演が行われた。

講演後は、協議会・お夕事と続き、最後に組長・副組長が集う懇親会を行い全ての日程が終了となった。

## 浄土真宗の教学相談 第2回

浄土真宗のみ教えに関して、さまざまなご質問をお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。この度の連載では、これまでお聞きした教学相談の中からいくつかのご質問を取り上げ、お聖教の言葉を依り所にしながら考えてみたいと思います。

お釈迦さまがおられたのは分かりませんが、阿彌陀さまは本当におられるのですか？



お釈迦さまは今から二五〇〇年ほど前、実際にインドで「活躍されたお方です。ですからお釈迦さまがおられたというのはいくぶんお釈迦さまですが、阿彌陀さまという仏さまは果してどのような仏さまなのでしょう。

この一如宝海よりかたちをあらはして、法蔵菩薩となりのたまたふをたねとして、阿彌陀仏とな

りたまふがゆゑに、報身如来と申すなり。…《中略》…方便と申すは、かたちをあらはし、御なをしめして、衆生にしらしたまふを申すなり。 (『念多念意』)

大変難しい言葉ですが、ここに「この一如宝海よりかたちをあらはして」とあります。実は阿彌陀仏という仏さまは、「一如」といわれる形なき真実そのものの世界から、法蔵菩薩としてお出ましくださり、本願をおこしてその願いを実現し、「自身のみ名を示して救いを告げてくださる仏さまである」と、親鸞聖人は仰るのです。

阿彌陀さまは仏さまと成られる前、法蔵菩薩と名のられていた時に、苦しみや悲しみを抱えて生

きる私たち衆生の姿をご覧くださり、必ず救い遂げてまことの安らぎと幸せを恵み与えようという、大悲の誓願である本願をおこされました。そして本願を完成する為に、途方もない修行を行いついにすべての者を救い遂げていく力を完成され、阿彌陀仏という仏陀に成られたと『無量寿経』には説かれています。

この本願の救いが完成したことを、すべての衆生に告げ知らせる名告りが、「南無（まかせよ）阿彌陀仏（われに）」という名号でした。それは形を超えた一如が、苦悩を抱える人々を救うために名号となつて如来された、形となられた一如ですがたであつたといえるでしょう。

まさに阿彌陀さまは「南無阿彌陀仏」という「自身のみ名を通して、その存在を私たちに告げ知らせ、さとり世界へと導いてくださっている仏さまだったのです。

阿彌陀さまは、触る仏さまでも、見る仏さまでもありません。「南無阿彌陀仏」と聞かせていただき、この口に称えさせていたたく仏さまです。「わが阿彌陀は名をもつて物を授けたまふ」（『教行証文類』）といわれるように、私たち

は「南無阿彌陀仏」という名号を通して、間違いなくお救いくださる阿彌陀さまと、今ここで出遇っていくのです。ですからお念仏を申しながら阿彌陀さまを探す必要はありません。「南無阿彌陀仏」を仏さまそのものとして受け止めさせていたたくところに、称えるお念仏の一声一声を通して、阿彌陀さまと出遇わせていただくことができます。

「尽十方無礙光如来」と申すはずなほ阿彌陀如来なり、この如来は光明なり。「尽十方」といふは、「尽」はつくすといふ、ことごとくといふ、十方世界をつくしてことごとくみちたまへるなり。 (『尊号真像銘文』)

阿彌陀さまはあらゆるところに満ち満ちていらっしゃる仏さまです。阿彌陀さまのいらっしゃる場所などありません。「あなたを救う仏がここにおるぞ」、「あなたと共に生きていく仏がここにおるぞ」と、今この私と共に行ってください。阿彌陀さまと「一緒の人生をよるごばれたお方が親鸞聖人だったのです。

龍谷大学 相愛大学 非常勤講師  
阪神西組 善教寺 副住職

赤井 智頭



## 子どもたちを育むために ―重点プロジェクト協議会はじまる―



仏様のお米での支援(専光寺仏婦の皆様)

兵庫教区では、宗門全体の実践目標として新たに策定された「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画の宗門重点プロジェクト実践目標である『貧困の克服に向けて』Dana for World Peace

既に佐用組・姫路プロジェクト各組(神崎組・神姫組・姫路東組・姫路南組・姫路中組・姫路西組)・淡路組・神戸東組において協議会を開催した。また、岡山南組・氷上東組については開催日が決定している。本協議会では、質問

スの方へ提供される等の活動を行っている。活動に使う分のお仏飯米については、住職からご門徒への依頼や教務所・布教使による仲介等で寺院からの提供も増えてきているが、それでもまだまだ足りないという。また、姫路南組善正寺(横山正仁住職)では、サマースクールをきっかけに、月一回のペースで『子ども食堂』を始め、現在二年目になる。子ども食堂で使用する食材は、地元企業やフードバンクより提供いただきながら、市民センターの調理教室を会場として利用し、ボランティアの方と一緒に活動を行っている。資金不足の問題や、企業から食材提供をいただく場合、契約書の作成を求められるため、宗派・教区等で作成方法のノウハウの提供などがあれば、と課題提起をいただいた。教区では、各組、寺院よりご報告いただいた様々な活動事例を集約し、教区内で協力体制の構築を検討している。

報告いただいた事例を挙げる(竹中尚文住職)では、ご門徒の皆様がお供えくださる『お仏飯米』を、子どもがいる生活困窮家庭へお届けする取り組みや、仏教婦人会の方がお仏飯米でいなり寿司を作り、ホームレ

## 歎異抄講座 親鸞聖人のお言葉を通して



講座に聞き入る参加者

教区寺族婦人会連盟では、現在、神戸別院を会場に歎異抄の連続講座を開催している。ご講師は、本紙コラム『浄土真宗の教学相談』にもご執筆の、赤井智顕師(阪神西組善教寺)。

本講座では、二年間で歎異抄の全章を学ぶことを予定している。第一回から第三回までは、歎異抄のあらましや親鸞聖人のご生涯・思想、法然聖人から親鸞聖人への教えの伝承などについてお話いただいた。次回(第四回)／十月二十九日開催)より、いよいよ歎異抄のお言葉へと入っていく。

また、他の参加者からは「継続してこないと付いていけなかったり分からなかったりするのかもしれない不安だったが、三回目の講座からでも分かりやすかった」などの声も聞かれた。次回は十月二十九日(月)午後二時／本願寺神戸別院にて『歎異抄 第二条』念仏に生きる／参加費無料／お問合せは寺族婦人会連盟担当まで

講義初回、赤井師の「学びを深めていくと更に疑問が出てくる。勉強すればするほど知らない世界が増えていくというところが起こってくるはずです。あそこはどうなんだろうか、ここはどうなんだろうか、と疑問を持った姿が学んでいる姿である、と受け止めていただいて、このわからない世界を楽しんでいただければ」との言葉をうけ、うなずきながら講義を聞く参加者も。

二〇一八(平成三十)年度 本願寺神戸別院

# 報恩講法要

【期日】十一月二十六(月)～二十八(水)

十一月二十六日 逮夜法要 ご門主様ご親修

【ご法話】岩間行則師(岐阜教区揖斐組西本寺)

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて、阿彌陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただくことが聖人の御恩に報いる道です。

神戸別院の報恩講は、十一月二十六日から二十八日までお勤めいたします。また、二十六日逮夜法要は、専らご門主様が御導師をお勤めくださいます。どうぞご一緒に、お念仏の道をお示しくくださった親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に出遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申しませう。皆様のご参拝を、心よりお待ちしております。

## 日程

二十六日(月)

十四時 逮夜法要

十六時 初夜法要

二十七日(火)

十時 日中法要

十四時 大逮夜法要

十六時 初夜法要

二十八日(水)

十時 満日中法要

## 教化団体等参拝奨励日

二十六日(月)

別院門信徒・門徒総代会・

門徒推進員連絡協議会

二十七日(火)

別院門信徒・仏教壮年会

連盟・寺族婦人会連盟

二十八日(水)

別院門信徒・仏教婦人会

連盟・仏教壮年会連盟・

講社

※参拝奨励日に関わらず、どの日でもご参拝ください。

皆様に魅力溢れるご旅行プランをご案内するJTB神戸支店

**ご本山参拝、各種研修、国内・海外聖跡参拝のことなら  
何でもお気軽にお尋ねください!!**



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB 神戸支店 〒651-0087 神戸市中央区御幸通4-2-20 三宮中央ビル5階

TEL:078-570-0150 (代) FAX:078-570-0159

営業時間:月～金 9:30～17:30 ※土日祝日及び年末年始は休み 担当:日原 功介